

六稜會報

NO. 12

1979・9・15



昭和54年9月15日発行
発行 府立北野高等学校内
六稜同窓会
〒532 淀川区新北野2-5-1
電話 06(303)5661代
振替 大阪68025
編集 山本次郎・満藤正巳
印刷 藤江コロタイプ印刷K.K.
電話 06(762)1868代

総会の御案内

日時 昭和54年11月3日 (文化の日)

場所 於 母 校

会費 昭和44年(81期)以前 ￥3,000

昭和45年(82期)以後 ￥1,500

催物

スポーツ親善試合(下記)	9時	グラウンド
「華々しき一族」「女の一生」の作者		体育館
森本薫展(43期)(昭五会主催)	11時	図書館2階
囲碁大会	9時	旧図書館2階
総会(会務報告、会計報告その他)	2時	講堂
卓話「書物の受け売りでない教育」	3時	同



佐賀先生

佐賀眞一氏 (昭和8年卒、46期。昨年まで35年間にわたり
母校で生物学を教えられ、御退職後も勉強中)

懇親パーティー 3時半 食堂

御家族づれ大観迎 ￥2,000 (何人にも可)

スポーツ親善試合

野 球	10時~12時	職員チーム対OB	グラウンド
ラ グ ビ ー	12時40分~1時30分	OB対OB	グラウンド
ハンドボール	1時~	OB対OB	表門横グラウンド
柔 道	11時~12時30分	現役対OB	体育館1階
合 気 道	12時30分~1時30分	OBと現役による演武会	体育館1階
卓 球	10時~1時30分	第6回六稜杯争奪戦 現役対OB(混成・男・女)	体育館1階
バスケットボール	10時~	OB対OB OG対OG 男子40才以上対女子現役1年生 男子現役対男子OB若手	体育館2階
バレーボール	10時~	現役対OB(男女別)	体育館2階
テ ニ ス	9時~	現役対OB(男女別)	テニスコート
陸 上	9時30分集合 10時~12時30分	体力テスト(5頁参照) (問診、血圧測定) グラウンド急歩etc)	体育館3階 グラウンド

昨年の総会から

卓話 中国あれこれ

上野淳一 (41期)

今年中国へ行った日本人は3万人位、来年は6万人から8万人位の日本人が中国に行くだろうと予想する。一種のブームである。

私は8月11日、70人の団体を率いてまず上海に着いた。幸運にも翌12日に日中平和友好協約が締結されたので、至るところでそれこそ熱烈な歓迎をうけた。ただ普通の外国旅行と違うのは上海に着いても翌日の日程がわからないことである。当地に着いたあとは、政府お声かかりの日中旅行社総社や対外友好協会の人が一切引連れてくれるのである。

私は40年前に上海に行っているの、その変わりように興味があったが、当時の租界は全くなくなっており、中国人のものとなっていた。上海の港も外国船の姿はなく揚子江を上下する船はみな中国船のみであり、当時の国際都市の面影はなく、かつての陸戦隊の本部は刑務所となっているといった具合。

黄浦江を3時間小舟で見学したが、その間10分位しか写真を撮らしてもらえなかった。そこに中国の不自由さを見たが、この上海の近くに広大な軍用地のあることを感じた。

紅旗をつけた高級車で上海の野菜市場を見学したが、運転手が誇らしげにクラクションを鳴らしていくのでその都度人々が自動車のそばに集まり、拍手するといった歓迎ぶりである。

日本で勉強した人が要人の中に大勢いるので親しくなると日本語で直接話してくれ、その点菜であった。北京に滞在して帰国の前夜(8月20日)、中日対外友好協会と日中友好協会とで、北京在住の日本人一旅行者も一全部をレセプションに招待してくれた。京劇が始まったが、その時中国の人は、4人組についての悪口を尽きることなく言っていた。4人組の時代には、京劇で孫悟空は演ぜられなかったとのことだ。又、公の席においての序列は中国人にとっては強く意識されるものようであった。

北京の前に西安に2日いたが、博物館を主に見学した。半坡博物館は6000年前の住居跡にそのまま屋根をかぶせて博物館にしたものだ。又山西省博物館は碑林といて文字を刻んだ石碑が1,000個以上も集まっており、さすが文字の国という感じがした。

文字といえば略字が多く使われている。人々は正式の字を学ぶ一方、壁新聞などで略字を勉強しているようだ。しかしゆきすぎではないかと心配している人も多い。毛沢東の記念堂を見学した時、そこはざわめいているというわけではないが、中国の人はその遺骸に礼をするでもなく憐れ目で見て歩いていく。かえって私達の方が、遺骸の前で両手を合わせるのであった。ここでも彼我の違いを感じたことである。

(朝日新聞社社主)

横綱前田山の名付け親 前田和三郎博士逝く

(享年85才)



大阪市の御出身。

明治45年北野中学卒(25期)。京大医学部卒。慶大名誉教授。日本整形外科学、日本外科学、日本胸部外科学、日本麻酔学各会長を歴任。横綱審議会委員、東京六校会会長等を務められた。

前田和三郎先輩をお悼み申し上げます

東京六校会常任幹事 大山利雄

前東京六校会会長・六校同窓会副会長の前田和三郎氏が、昭和54年8月17日お亡くなりになりました。先生には東京六校会の第3代目の会長として、昭和41年より昭和52年まで12回の総会を召集、執行していただきました。明治45年北野中学校御卒業の第25期生として、東京六校会では、最も古い大先輩として、毎年、総会にご出席賜わったものです。会長を現在の玉置会長に譲られた後も、昨年の総会には、お元気にご出席になられ、ご自分のご年齢とは65才位も違うであろう、若い新会員の紹介を、目を細められて、注視しておられたお姿が喉に浮かびます。数年前ご夫人を亡くされ、その節高垣先輩とお悔みに参ったことがありましたが、僅か2~3年の間に、東京六校会のために、ご献身いただいた両先輩が共に不埒の客とされたことに、誠に寂しさを感じる次第です。

先生は、北野を御卒業、京大医学部に進まれ、昭和3年以降、慶応大学の医学部の教授として、また、多くの学会の会長として日本医学界に貢献されたことは、つとにご案内の通りでありますし、また日本相撲協会横綱審議会委員として、ご活躍なされ、特に戦前、横綱前田山が先生のお名前を頂いたことは、吾々の中年の者には、深く記憶されておることでもあります。

東京六校会の多くの先輩が居られるなかで、私が稿を草するのは、甚だ潜越とは存じましたが、謹みて哀悼の辞を申し上げさせていただきます。合掌。



株式会社 鴻池組

取締役社長 鴻池 藤 一

会 務 報 告

昭和54年度 第1回常任理事会

S54年5月15日(火) 於清交社 5:30~
出席者-田村、緒方、大山、奥田、梶本、泉、佐々木、溝脇

議題

1. 会計報告 別紙
2. 総会の件
 - ①日・時・会場 11月3日 学校
 - ②内容 総会、懇親パーティ、親善試合、陸上部(体力検査パーティ時結果発表別紙)、その他(囲碁大会、合気道)
 - ③会費 3,000円(家族2,000円何人でも)
3. 年会費値上げの件
いろいろ議論があったが、郵送料等の値上げが予想される。110周年のためにも年会費値上げが必要である。今年度より2,000円とする。
4. 110周年記念総会・記念事業の件
 - ①記念総会(規模)会場をかりるか学校運動場にテントをはるか二つであるが学校でというのが第1。
 - ②名簿発行 広告をとる。
予約をとる(予約販売)。理事に年度の新しい正しい名簿をまとめてもらい、それを基礎にする。
 - ③事業 宿題-お互によく考えておくこと。
 - ④財源 広告、バザー等。
5. 会報の件 昨年並みの規模。
6. 理事会招集の件 清交社で5月29日(火)午後5:30
7. その他 東京六校会6月8日

昭和54年度 第1回理事会

S54年5月29日(火) 於清交社 5:30
出席者-上野、田村、緒方、大山、奥田、山本、梶本、泉、佐々木、溝脇、坂田、寺地、寺井、名畑、理事各位

議題

1. 会計報告(別紙)

2. 総会の件

- (イ) 日時 54年11月3日(土)文化の日
- (ロ) 会場 学校
- (ハ) 内容 総会、懇親パーティ、親善試合(運動場関係、体育館関係)運動クラブ連絡会を聞く(7月中)新しい参加希望クラブ-陸上部、合気道、ハンドボール部
囲碁大会、その他
- (ニ) 会費 3,000円(家族2,000円何人でも)若い人の会費の負担を軽くしてはどうか。
- (ホ) 卓話 講師の候補者出ず、後に事務局に連絡すること。

3. 年会費値上げの件 2,000円

郵送料の値上げその他が予想される、年会費の値上げはやむなしと思う。納入者をふやす工夫をすべきて、年度の理事・幹事に納入状況を知らし、理事・幹事に努力してもらってはどうか。

4. 110周年記念総会(S58年)

- 昭和58年に110年を迎えるに当り、今からその心づもり、準備が必要。
- (イ) 記念総会(規模・場所) 2~3,000人
会場を学校にする(テントを張って)。その他別に会場をかりる。
パーティ場が別になることもある。
 - (ロ) 名簿の発行
広告をとる。
予約を一年前にはとっておくこと。
新しい住所・名簿を理事の方でまとめること。
 - (ハ) 事業 等は宿題としてよく研究する必要がある。
 - (ニ) 財源 広告、バザー等を考える。

5. 会報の件 昨年並みの規模とする。

6. その他

昭和54年度 第2回常任理事会

S54年6月29日(金)6時 於校長室
出席者-田村、緒方、奥田、日高、山本、堤、丸野、佐々木、溝脇

1. 総会の件

- (1)日時・場所・会費 学校11月3日
(イ) 3,000円(家族2,000円)但し卒業後10年までは1,500円とする。

(2)内容

親善試合、その他催物(合気道・陸上競技部(体力テスト)・囲碁) 14.00 総会・卓話・懇親パーティ
催物-卒業生の作家・評論家・卒業生の画など候補に上がるが一応森本薫氏(S5)に落ちつく。
昭五会の協力(谷弘氏に一任)
卓話-佐賀真一氏(緒方正美・津田植三氏も話題に上る)
運動部のクラブは新しい参加クラブを求める。サッカー・ハンドボール・ソフトボールに参加を呼びかける。但しむつかしい場合はラグビー・野球でうめる。
運動クラブ連絡会は7月21日(土)3時~4時学校会議室で開催する。

(3)記念品・昼食

手拭い 600枚つくる。

(4)パーティ設営・料理

西村氏と学校食堂に依頼する。
学校食堂(昨年2,000円×254人508,000円)

(5)常任理事役割

会務報告・会計報告 田村・緒方
総会・パーティ司会 奥田・楢崎
親善試合(運動クラブ連絡会、その他) 日高・山本
受付(人数・時間に余裕のあるように) 堤・丸野
会場設営・後始末 田村・梶本
囲碁 田村

2. 会報

広告→15社位

大——— 50,000円

小——— 30,000円

財団法人 洪庵記念会

産 婦 人 科 緒 方 病 院

緒方正美(53回)・緒方正世(54回)・緒方正名(56回)

大阪市東区今橋3丁目18番地 電話 06(231)3255・3256・3257

クラブ連絡会 7月21日3時～4時
於北野高校会議室

出席者＝日高・山本・佐々木・満島
テニス＝西尾、陸上＝石田・鴨脚、バ
スケット＝西田・岩田、卓球＝中村・
岡田、柔道＝川畑・高林、合気道＝谷
野球＝品川・山本、ラグビー＝日高、
バレー＝豊島、欠席ハンドボール(文
書で参加申し込みあり)

野球 10時～12時、職員チーム対OB
戦(グラウンド)、ラグビー 12時40分～
1時30分、OB対OB戦(グラウンド)
陸上部9時30分集合10時～12時30分、
体力テスト(体育館3階、グラウンド)
問診、血圧測定。体育館10時～12時・
グラウンド(急歩)12時～12時30分
ハンドボール1時OB対OB戦(表門
横グラウンド)

柔道11時～12時30分現役対OB戦(体
育館1階)

合気道12時30分～1時30分OBと現役
による演武会(体育館1階)

卓球10時～1時30分第6回六稜杯争奪
戦現役対OB戦、男女混成(体育館1
階)

バスケットボール10時よりOB対OB
OG対OG、男子40才以上対女子現役
1年生、男子現役対男子OB若手(体
育館2階)

バレーボール10時より現役対OB男女
別(体育館2階)

テニス9時より現役対OB男女別(テ
ニスコート)

同窓会各期空席理事

補充のお願い!!

該当の学年は早く理事を決定の上本部
までお知らせ下さい。60期までは男1
名、61期より男1名女1名です。

なお理事不在の年度は次の通りです。

明治41まで

明治43・44・45

大正4・6・8・10・11

昭和27・31・36(女)・37(女)・39・40

42・43・44・46・47・49・50・51

各理事にお願い!!

名簿は全体を五十音順で!!

各期で名簿を作るよう努力して下さい。
名簿作成のおりは全体を五十音電話帳
式にならべて下さい。整理に手間とり
ますので、クラス別の名簿は作らない
ように、各年度とも統一して下さい。

六稜同窓会役員就任

- 理事 北村栄二郎(M45・25期)
 * 西田 駿夫(S12・50期)
 * 田中 仁也(S14・52期)
 * 清原 祥恵(S32・69期)
 * 北浦 康弘(S34・71期)
 * 右田 悠子(S34・71期)
 * 早石 雅有(S35・72期交代)
 * 造力 全史(S54・91期)
 * 宮田 薫(S54・91期)

壮年体力テスト(陸上OB)

誰でもできる!!

あなたもやってみませんか!!

あなたの体力年齢は?

壮年体力テスト実施要項

- 期日：11月3日(日)AM9時半受付
- 健康相談：医師による診断
- 種目：①反復横跳(敏捷性)…瞬間
をすみやかに動かす能力を
見る(3本の線を引き何回
もまたぐ)
- ②垂直跳(瞬発力)…瞬間的
に強い力を出して運動する
能力を見る(どれだけ高く
跳び上がるか)
- ③握力(筋力)…筋肉の力の
強さを見る。
- ④ジグザグドリブル(巧緻性)
…身体を巧みに動かせる能
力を見る(バスケットボー
ルをドリブルして旗の周り
を廻る)
- ⑤急歩(持久性)…強い運動
を長い時間続けられる能力
を見る(男子1500m、女子
1000mを歩く)
- 用意するもの：運動できる服装、運
動靴、タオル
以上の種目を楽しく行って載ければ
皆様の体力年齢がわかります。

六稜文庫

(昭和53年5月以降)

S42卒(78期)	橋本カツ子 (旧姓 西井)	1945年動笑の満州 (シリーズ・戦争の証言第20巻)	1	107	53.10.12
六稜野球部OB会		センバツ50回 青春の軌跡(毎日新聞社編)	2	108	53.10.21
T9(33期)卒	藤中 博	微分方程式	1	109	53.11.24
	藤中 博	微分方程式	2	110	53.12.1
	藤中 博(編著)	日本数学年表・数学者小伝3	3	111	53.12.8
昭五会		六稜五会会員便り第4号1	1	112	54.2.19
S2休(S3卒)	黒田了一	学習 憲法学	1	113	54.2.22
	黒田了一	学習 法学	1	114	54.2.22
	黒田了一	知事断章あすへの希い	1	115	54.2.22
	黒田了一	大阪にルネッサンスを	1	116	54.2.22
	黒田了一	わが師わがことば	1	117	54.2.22
T9卒(33期)	藤中 博	初等解析学基礎篇	1	118	54.2.28
	藤中 博	初等解析学微積分篇	1	119	54.2.28
S20卒(59期)	柴田幸雄	受験生化学	1	120	54.4.11

(注)氏名は寄贈者名です。

なお他にも卒業生より図書館あてに寄贈された本が同数以上ありました
が、「六稜文庫」宛になっているもののみ掲載しております。又「六稜文
庫」は別途保管しております。

年会費納入者数

ベスト15

第1位	昭和27年	64期	69人
2位	* 28年	65期	64人
3位	* 34年	71期	55人
4位	* 7年	54期	54人
5位	* 24年	62期	52人
	* 25年		
6位	* 17年	55期	51人
	* 33年	70期	51人
8位	* 12年	50期	48人
	* 29年	66期	48人
10位	* 13年	51期	47人
11位	* 9年	47期	46人
	* 15年	53期	46人
13位	* 10年	48期	45人
	* 14年	52期	45人
	* 26年	63期	45人

会 計 報 告

六稜同窓会 昭和53年度会計報告

昭和53年度 六稜同窓会 一般会計報告

科 目	53年度予算	53年度決算
収 入 の 部	円	円
1 前年度繰越金	501,873	501,873
2 入会金収入	690,500	691,000
3 年会費収入	2,500,000	2,042,700
4 広告収入	400,000	560,000
5 臨時会費収入	500,000	891,000
6 寄付金収入	50,000	* 216,706
7 利息収入	50,000	20,221
8 雑収入	10,000	0
9 他会計より受入		
(1) 梅林会計	31,105	31,105
(2) 新体育館寄付金会計	171,000	171,000
収 入 合 計	4,904,478	5,125,605
支 出 の 部		
1 運営費		
(1) 人件費	150,000	40,000
(2) 旅費・交通費	330,000	114,510
(3) 通信費	50,000	27,590
(4) 印刷・事務用品費	30,000	10,860
(5) 会議費	200,000	243,576
(6) 総会費	850,000	756,060
(7) 慶弔費	700,000	672,050
(8) 雑費	150,000	90,010
2 会報発行費		
(1) 編集費	30,000	15,600
(2) 印刷費	1,200,000	1,015,736
(3) 発送費	900,000	908,400
(4) 雑費	10,000	540
3 子館費	204,478	0
4 他会計へ支出		
(1) 基金積立会計	50,000	50,000
(2) 名簿特別会計	50,000	50,000
支 出 合 計	4,904,478	3,994,932
次年度繰越金	0	1,130,673

(注) 内訳

高畑三保子様	50,000	上野淳一氏	10,000
(高畑未亡人)		北野高校	11,000
春江コロタイプ	15,736	(スホーフォイル売上げ金より)	
84回 博本字様	30,000	91回生寄付	2,970
梅田画塾	40,000	新体育館寄付	57,000
(パンフレット売上げ金)			

昭和53年度 名簿特別会計報告

科 目	予 算	決 算	備 考
I 収入の部	円	円	
1 前年度繰越金	1,913,370	1,913,370	
2 名簿売上収入	24,000	51,600	(1200×43冊)
3 広告収入	1,000	0	
4 利息収入	20,000	59,486	
5 一般会計より受入	50,000	50,000	
収 入 合 計	2,008,370	2,074,456	
II 支出の部			
1 編集費	1,000	0	名簿在庫 1) 年度始 543冊 2) 売 上 43冊 3) 残 冊 500冊 (240円×7冊)
2 印刷費	1,000	0	
3 発送費	8,000	1,680	
4 雑費	1,000	0	
支 出 合 計	11,000	1,680	
III 次年度繰越金	1,997,370	2,072,776	

昭和53年度 六稜同窓会基金会計報告

科 目	決 算	備 考
収 入	円	
1 前年度繰越金	13,111,866	金銭信託(大和銀行)
2 利 息	775,358	
3 新規積立金	50,000	
収 入 合 計	13,937,224	
支 出 合 計	0	
次年度繰越金	13,937,224	

以上のとおり昭和53年度六稜同窓会会計報告をいたします。

昭和54年 5月 1日

六稜同窓会長 河崎 邦夫

本会計報告の正確であることを認めます。

昭和54年 5月 1日

六稜同窓会監事 谷口 幸三

同 上 滝井 尚三

年会費—本年より 2,000円に!!

よろしくご協力をお願いします!!

年会費制度の採用により、随分と同窓会運営に余裕ができ、誌会の運営・会報の発行、その他の事業も順調に進めてまいりました。ご協力を感謝し、謹んでお礼申し上げます。

ところで、郵便料金その他の大幅値上げが云々されており、それに伴う諸事の値上げが予想されています。もしも予想が現実になりますと、これまで通りの年会費では、現状通りの運営をする事は極めて困難になります。

その上、昭和58年(3年後)創立110周年を迎えることになり、これにも又、相当の財源の確保が必要です。

年会費が2,000円になりましたも、逆に納入者が減ってはなにもなりません。何卒この間の事情をご了解いただき、旧に倍のご協力ご協賛をお願い申しあげる次第です。

東京六校会第22回総会報告

東京六校会 常任幹事 大山利雄



54年6月8日午後6時より、恒例の日本工業倶楽部で第22回東京六校会総会が行われました。年々、来会者の方が増加され、誠に喜ばしく存じますが今年も約250名の同窓の方がお集り下さいました。

先ず、東京六校会玉置会長の任期が規約上、2年ということで、今年がその時期に当たるため、引き続き玉置会長にお願いすることを満場一致で決議致した後、玉置会長より御挨拶。

続いて久し振りに大阪よりお見えになった上野淳一六校同窓会副会長より、六校同窓会全般に就いての近況報告並びに母校創立110周年記念総会への準備に違ひこと等のご挨拶を頂いた。

母校の近況に就いては、同窓会名誉会長泉現高校長のご説明があり、東大、京大、阪大等を始めとして、大学進学に就いて、公立校として、大変、立派な実績をあげておられる旨の報告があり、一同心から、喜んで次第。

幹事から、会計報告をした後、本日のメインゲストである労働省事務次官北川俊夫氏(55期・その後次官を勇退される)より最近の労働問題に就いての講話を拝聴する。各企業或いは各単位が対応せねばならぬ高年化社会の問題点を指摘され経営を行う立場の者にとって甚だ有益なお話であった。

総会を終了して懇親パーティーに入る。本日ご出席の最先輩である日野光雄氏(大正7年卒)に乾杯の首領をとって頂き、1年ぶりに健康で再会したことの喜びと会の発展を祝す。

いつもながら、お世話になっている朝日麦酒の中小路茂次常務取締役(58期)よりご挨拶、衆議院議員中馬弘毅氏も見えられたので(高7)ご挨拶をお願いしました。また、茨城県の笠間で、笠間焼に精進をされて居られる作陶家和田守弘氏(74期)も見えておられましたので、会員の皆様に、ご紹介

介を致しました。

夫々、年次グループ毎の食卓で、飲みながら、或いは味を楽しみながら懐旧の情に耽ける折、昭和15年以降、北野の体育の先生として、今年まで名名のうたわれたビンタ(失礼)こと平石亮三先生が退官の挨拶に、わざわざ、上京、来会して下さい、マイクをとって、皆様に挨拶をされましたが、さすが、人気者の先生だけに、誠に盛大な拍手と聲援がありました。

今年も多くの新会員(今年東京の大学等に入学された、め東京にみえた卒業生)を迎え、その紹介を高27年度幹事松島みどり君にお願いし、答礼の辞を遺力全史君が力強く述べられ、先輩の方から、また拍手を以ての激励をうけました。最後に校歌を合唱して散会しましたが、宴途中、同窓会常任理事山本次郎氏(62期)がわざわざ大阪より見えて下さったのですが、ご挨拶をして頂く機会がなく残念でした。また北野の先生で六校同窓会の事務局を勤めて下さっている寺井あかね先生にも、挨拶を頂けず、残念でした。

毎年思うことですが、300名近くの同窓の集る会になろうとしている東京六校会の裏方を背負って、公私の時間をさきながら多くの努力を奉仕して下さいの幹事諸氏始め関係の皆様は、心から御礼を申し上げます。益々、発展してゆくよう、多くの方々のご支援も併せて、お願いする次第です。

東京六校会事務局

〒154 東京都世田谷区若林3-6-18 大山利雄 気付
電話 03-421-0693

六校ラグー七年連続優勝を逸す

昭和54年3月～4月に行われた第16回大阪府高校OBラグビー大会に参加した六校ラグーは、本年こそ第一部(満40才以上)・第二部(青年)揃ってのアベック優勝を飾らんものと、気合を入れて大会に臨んだ。

第二部は、2回戦において宿敵桃陰ラグー(天王寺高OB)を25-14と破り意気大いに揚ったが、3回戦で不覚を取り、上位進出はならなかった。

6年連続優勝を続ける常勝六校ラグー第一部は、今年も連続記録を延ばさんものと、満を持して大会に臨んだ。

相変わらずの強みを発揮する我が六校ラグーは、第1回戦不戦勝。2回戦蹴クラブ(四条岨高OB)。準優勝戦淀川クラブ(淀川工高OB)を次々に斥けて、優勝戦へ進出した。

優勝戦の相手は、積年の好敵手桃陰ラグー(天王寺高OB)。両チーム往年の名選手を揃えて、前半はがっぷり四つに組んで0-0。後半になり六校が先手を取ったが、中盤に逆転され、終盤猛追撃したがわずかに及ばず10-15で破れ、連続の夢は潰えた。

来年は強力な新戦力(新たに満40才になる者)の参加が見込まれるので、捲土重来を期し度い。〔比山 實二(63期)〕

土木建築総合請負・瓦斯配管工事請負

碎石・砂利・砂等諸石材の生産販売



奥村組土木興業株式会社

代表取締役 鈴木 宏 (60回卒 野球部OB会長)

本社 大阪市港区市岡3丁目5番18号

TEL 06(572)5301〔大代表〕

北野戦後史



思い出の明確

題字 泉 徳二校長

一連載第2回一

北野回想

杯 吹 唯

1948年は、敗戦後の虚脱感は薄れていたが、校庭の片隅や周辺には、まだ芋畑が残っていた。現在のテニスコートのところには、成小路小学校の焼残りの鉄骨が、無音で立っていた。10月の終りに校長に就任して、12月、生徒のクリスマス・パーティに招かれた。旬日を出でずして、パーティのK君たちが、武蔵川河畔で、自殺するという事件が起った。僕の理解の範囲を越える事件であった。書き残されなかった「巖頭の惑」が何であったか。複雑多岐な人生の扉をどんとと敲かれる思いがあった。それから数年、連鎖的に自殺者が出た。世評が学校の無策を責めたのは無理もない。当時の状況からみて、実際にはもっと多数の青年が、危機に襲われながら、自力で復元していたのであろう。僕には積極的に彼等を救う力はなかった。たとえ予感できたとしても鎮でつなぐことはできなかった。生命の尊重は、他から教わるというよりもむしろ本能的、自覚的なものであるから。最近でも自殺者が続出すると、その現象に当惑し、通り一遍の解説で嗜好をつけ、根元に触れることは少ない。そして、今もなお、過去の生命軽視の風潮は、その跡を絶っていない。いろいろな提言のうちには、学校の西南部に、かつて墓地があったから、お祓いをしては、というものもあった。しかし、このうえ人間の敗北を肯ずる訳にはいかなかった。

当時教育委員会の方から、アメリカ民政部長アンダーソン氏の話を書いてはどうか、ともちかけられた。恐らく彼は、日本人が宗教心に乏しいので、クリス教を説こうとしているものと推測された。僕は早速、民政部長に行き、部長のアンダーソン大尉に、たどたどしい英語であったが、自教は、人間の内面のシリアスな問題だから、権威によって、外部から左右できるものでない旨を述べた。学校の宗教的中立性については触れなかったように思う。彼は何のこだわりもなく、あっさり止めると答えた。呆氣にとられる程であった。僕はアンダーソン氏を理解する人と敬服した。占領期のどきどき時だから、竟つぱい人もいたようだが、つくづく思った。仮りに、立場を替えて、若し日本の占領地で日本の将校に、彼の申出を再考して欲しいと話しかけたとしたら、恐らく彼はカッと成って、殊に話もきかずに、面子(メンツ)を潰したとか何とか云って、追い返さずであらう。その意味で彼等は勝つ基礎の上に立っていた、と。

そういうことで、学校はもやもやした空気に包まれていたが、49年の春、選抜野球に優勝して、明るさをとり戻すことができたのは幸であった。正直いって、下馬評にものぼらず、勝つことは念頭になかった。ただ全力を尽して闘い、負けても泣かないで欲しいというのが、激闘の言葉であった。校長室の隣の応接室だから、20人たらずのささやかな壮行の集いであった。当時は、どの学校も一樣に物資が不足していたから、練習量も大差ない。条件が同じなら、われわれにもチャンスはあった。

PTAの役割その他

戦後教育の初期に、学校運営に果たした、PTAの役割に触れずにはおれない。机も教具も不足してる時期に、財政上の援助を惜しまれなかった。今日では忘れられていると思うが、北と東側のコンクリートの扉は、PTAの資金によるものである。60年代からの高度成長期以後の生徒諸君には、想像するのも無理であらう。PTAから学校への要望は、教職員の充実であった。尤もなことで、宿直室には、寂泊りしている人もあったようで、僕は2年の歳月を籍して欲しいと答えた。人事はアパートの買物とちがい、当事者の生活がかかり、また出来るだけ優秀な先生を招かねばならない。教育は人である。

近ごろ、週休2日制が話題にのぼっているが、当時の府立高校では、殆ど2日制が、府教委のサゼストによって採用されていた。一つには、敗戦によって困窮しているのに、2日も休むのは理に合わない。二つには、2日制をとった場合、有効に利用できる施設も方策もないとの理由で、2日制はとらなかつた。そのうち他校も、1日制にかえった。理屈はどうかあれ、2日休めば良いのだという乱暴な話もあった。それやこれやで、民政部の通訳が、僕を指して日本一の反動校長だと決めつけた。このサゼストの勳進元は民政部だったから。

団交のはしり

学校民主化で問題になった一つには、自治会規則の作成がある。生徒側は、自治会だから、文字通り自治で、学校側は干渉すべきでない。例えば、多数決では生徒の数が多いのだ、という主張は度々きかされた。授業料を払う側と、受取る側とが、同一水準というのも無茶だが、自力で苦勞して獲得した民主主義でないから、仕方ないのであろう。外部団体との連絡プレイも当りまえで、新産別の副議長が面談を申込み、一部の生徒は吉田と林を倒せと黒板にかき、早朝校門で地区委員がピラを撒くという状態がつづいた。労働組合員からの投書もあったが、主として業界によるもので、文案は大体似ていた。

人によっては、自治会の名称が原因だから、生徒会に改めたらという意見もあった。しかし、事の本質は呼称にはないので、そのまま変えなかつた。彼らとは、しばしば校長室で談論を交わした。顔色が悪くなると、今日はこれだけにしてくれと云って、後日相談のうえ、案を練りなおして会談を申し込むという風であった。いま顧みると、当時は皆貧しい中で、民主主義を信奉して新生を模索し、ともに情熱を燃やしていたのである。おのずから人間的な融合があつて、いやな感じは残っていない。物に憑かれて、人間性を見喪った高度成長期とは、一味ちがって、対立しながらさばざばしていた。

生徒諸君の横断

生徒諸君と論議した問題には修学旅行があつた。初めは、交通機関が不備で交通が混雑していたから、緊急度の低いものは、旅行をさし控えるがよい、と現実的配慮によるころがあつた。ただ、女生徒については在学中に旅行経験をして見聞をひろめておくのが有益とした。後になると、修学旅行は楽しい思い出という以上には積極的な理由がないので、実施にはいたらなかつた。それより気の合った友人グループで溼然と、あるいは目的をもって旅にでたり、登山するというのが面白いとした。また団体旅行の実体が背景になり、抵抗があつた。この問題は「やるべきだ」やるべからず」と対立的に犯えるより、価値観にしたがって選択すべきでしょう。皮肉なことに、数年前、平戸へ北野高校の修学旅行がきた。僕のあつた生徒諸君が、キリッとして、井と変らなかつたのは嬉しかった。

僕の在任中は、殆ど毎年、不本意ながらジャーナリズムに話題を提供していた。そのうちで熱田神宮、談山神社、多田神社などに、刀剣を目当てに潜入するという事件があった。F君は学業優秀な人で、特異な好奇心に駆られ、平板な学校のコースからはみ出たのであろう。平穩な社会に一石を投じ、自由教育の弊とする批判も一部にあった。困ったことではあるが、たまたま常軌を逸脱する生徒の出現によって、学校の基本方針を転換する訳にはいかなかった。「週刊朝日」はこの件を取り上げ、興味本位でなく、公正な取扱いであったのは有難いことだった。F君の将来について、そのまま北野に留まることは、学校秩序の観点から許されないで、転校して再出発することを希望した。幸に京都の〇校に転校が許された。自校でお手あげして、他校に依頼するのは情けないことであるが、われわれの希望をうけ入れられたK校長に深く感謝し自らの力の足らざるを恥じた。

在職後半の二大事件

在職後半に、学校をあげて揺さぶられた事件は、日米安全保障条約と勤評騒動の二つであった。両者は政治的、社会的な大事件であったから、ここでは事件そのものより、これらに対処した、僕の基本理念と対策について記すこととする。時期は逆になるが、先ず安保では、一つには、生徒諸君に賛否両論について、専門の講師を招いて紹介する。二つには、校内の政治活動は禁止することであった。それでも岸首相の時勢？を企てる生徒が出て、青年の心の動きの難しさを痛感させられた。

勤評騒動は1959年に頂点に達したが、前年からくすぶっていた。59年1月下旬、大阪で日教組の大会が開かれたのを機に、火を噴いたようである。教組の主張は、体制強化（民主化に逆行）或いは権力機構への組入れは嫌だということである。すでに法律が成立したのであるから、一応それに従って、欠陥があれば、差当り運用によって融通をきかせたらどうか、へのへのものようなものだというのが僕の立場であった。権力闘争だといきり立つ側からすれば、おめでたい体制の片割れとみられたであろう。仮りに、校長が自分に不利な評価をするようなら、校長の目は節穴で、論ずるに足らず、という位のプライドが、先生には適わしいのではないか。要は、学問と人格を通じて、どれだけサービス出来るかというにある。体制批判を無用と云ってるのではない、それが無かった、或いは出来なかった戦前の苦い経験を忘れるものではない。また教育を、体制の影響から切り離せるとするほど楽観的ではないが、これを政治闘争に捲きこむことは、できるだけ避けねばならぬ。

深夜の校長室で

1月末に、大教組の方々、夕刻から12時過ぎまで論戦した。本来、僕は北野高校の校長として、北野分会との交渉の責任はある。しかし、教育長でもない僕が、大教組と論争す

る必要も義務もない。国の教育は、国会の決定によるので、先生が嫌だと云って、変更しうるものではない、と至極単純なことでもの分かれとなった。10数人対1人で、長時間論議したのは、これが始めて終りだった。論議の最中、僕の背後で大声を出す人がいるので、耳はよく聞えるし、喧しいから静かにしてくれといったら、ハイと云って取まった。後で気がついたのだが、大声も戦術の一つだったのかも知れない。

その後いよいよ勤評提出の期日が迫ると、分会はハリストに入り、組合の人がきて、ハリストやってるが、どうするかという。僕がやれと云ったのでもない、君たち自身の行動について、僕がどうするもない。健康上のことは僕にはよく判らぬから、校医様に連絡してくれといった。ハリスト中も授業を続けたのだから、ハリストという看板が欲しかったのであろう。

こんなごたごたが続いている時期だったと思うが、大阪の某右翼団体から、困っているようだから、手助けしようかと電話があった。僕は、この件は教師間の内紛で、第三者の介入は避けるべきと考えていたからお断りした。

そのうち校長会（僕は前分前から出席していなかった）と教組との談合によって、勤評不提出が決定された。電話で同調を求められたが、僕は野合には応じられない旨を答えた。単刀直入に「野合」という語が口を突いて出た。わが国のムニャムニャの風土にはなじまない面がある。人は口が悪いというが、裏でぐずぐず云ったり、酒の肴にして、本音をぶつけ合うのは頂けない。ユーモアという潤滑油が不足してせっかくだから、本当の意味の保守主義（反動主義に非ず）は人気がなく、戦を決して対決することになる。

ただ、この間、少数ではあったが、非組合の先生方が自発的に、御協力下さったのは感謝の言葉もない。若しそうでなかったら、僕は独りで、空回りとなっていたでしょう。

後記

山本次郎君から寄稿の御依頼をうけて、応諾したものの、さて考えてみると、14年を12枚の原稿紙に取めるとなると、なかなかおぼつかない。まして真話を面白くという注文もついている、いよいよ難題。枕草子が西鶴を、しっかり勉強しておけばよかったが、舞筆は柄にないこと。ご隠居自慢の昔話は、御愛敬だが、そもいかない。お読みになって、あれが無い、これが抜けてる、とお感じでしょう。その通りなんです。「時」のフィルターを透った残映としてご容赦ねがいたい。

はやしだけを先生略歴

明治34年広島県の御出身。六高、東大西洋史学科卒。七高教授、大高教頭を経て、昭和23年本校校長に御就任。以後37年まで14年間にあたり、波瀾にみちた時代の校長職を全うされた。著書に、ローマ史(雄山閣)、世界史(ローマ篇)(平凡社)等。

(見出し文責 編集部)



最新の技術と50年の経験を生かしたコンプレッサー及空圧製品の専門メーカー

株式会社 田邊空気機械製作所

本社・工場	大阪府摂津市千里丘2丁目14番6号	☎代(06)(388)1331
名古屋工場	愛知県小牧市大字小牧800番地	☎代(0568)(76)4191
東京支店	東京都中央区日本橋室町1丁目6番地	☎代(03)(279)2481
名古屋営業所	愛知県小牧市大字小牧800番地	☎代(0568)(76)4191
広島営業所	広島市広瀬町6-8	☎代(0822)(32)8538
九州営業所	北九州市小倉区浅野2-17-46	☎代(093)(531)1305

座談会 ひとつとふたこと

—先生方から生徒諸君へ—

出席者 葛西憲徳 (英語S23～)
伏谷輝幸 (英語S26～)
田上泰昭 (国語S30～)
博本正和 (数学S30～)

水落和沖 (社会S33～)
上原昭男 (英語S42～)
司会 山本次郎 (62期S19～25)
溝脇正巳 (65期S25～28)

生徒の気質—今と昔

司会 先生方は皆さん20年以上も北野におられる方ばかりなのですが、昔と今とは随分生徒の気質も変わったんじゃないかと思うんですが……

葛西 昔の生徒には気骨がありましたよ。虹というか、例えば詩を書いたりしても夢があり、明るさがあった。今の生徒たちは言われたことをただやるだけで、つまり自主性がないんですわ。

伏谷 よく言われることですが、生徒がサラリーマン的になってるんですよ。サラリーマン的な同僚が少ないというのが、むしろ我々北野の教師の誇りなのにな。

博本 スケールが小さくなって、豪傑が少なくなりましたね。

田上 昔と今を比べると、生徒たちがただ表面的な意味で優等生になっているということを感じますね。何事かに打ち込む濃味のある奴がいなくなって、与えられた課題を与えられたとおりに手際よく習得し、その限りでしかやらないというような傾向が増えているんだよね。

葛西 そう。昔は教えていないことを勉強していたわ。今は教えられることだけを勉強する。私は今3年生を教えています、今の子はカントを知らんですよ、エマニュエル・カントをね。テストに出ないから。

水落 僕が来た頃は、もっと高校生活を楽しんでいましたわ。今は生活の一部分として、受験知識を身につけるために来ているんです。もっと学生生活を楽しんでほしいです。

博本 母校愛というのもうすいですね。大学に入れるところなら何処でもいいんですわ。それがさっき言われたサラリーマン的ということになるんですわ。

その原因は—

司会 生徒の気質が変わったという原因は、どこらあたりにあると思われませんか。

葛西 昔と今を比較すると先ず教材が増えていますよ。昔は3冊だったが今は5、6冊。それとやはり、社会的情勢の変化ですかね。良い学校を出て良い会社に入るという。昔は教師による指導力がありましたよ。北海道大学に行きたいとか、東北大学に行きたいとか、あそこは雪の研究をやってるとかね。すると、親が困るんですよ。親と子がモメたこともありました。私が子供の味方をしてうらまれたこともありましたわ。

博本 この大学にはこういう先生がいるとかね。今はどこでもいいんですよ、名前の通った大学に入れるなら……

伏谷 手っ取り早く現実的に、全てにおいてエエ恰好をして、そういうものが得られれば、それで何でも良いんですよ。

葛西 深い内容の授業をしても生徒はついてこないんだね。今は受験に関係していないことには一切ついてこない。3年生は毎年、トーマス・ハーディをやっていたんですが、去年、今年とそれが出来なんですよ。内容的にのめり込むという授業はでき

ないんです。ゆとりのある教育というのが文部省の方針なんですけどね。私自身は北野に来たときと今の授業は同じなんです。怒るし、チョークを投げるしね。怖い先生ですよ。(笑)

博本 社会的風潮の影響も大きいんでしょうね。僕らが来たときには、何が何でも大学というようなことはなかったですよ。昔は1学年450人中男子350名、女子100名、現在は450人中、男子250名、女子200名ですが、就職するのは今、女子で2、3人いるかどうか。兎に角、何でもいからい大学へ入ろうという風潮が出て来ているんですよ。

母親教育からやり直せ

司会 教育期間が短かすぎるという意味で、6・3・3制の影響ということはないんでしょうか。

博本 6・3・3制というのは、もう今はすっかり浸透してしまってますからね、今の子にその影響を論ずるのは無理じゃないですか。親の影響の方が大きいでしょうね。昔はどこの子でも、同じ様に叱ったんですが……

葛西 昔は先生が生徒を叱るのは当然でしたが、今は叱ると親が出て来るとですよ。電話なんかで、うちの子が何で悪いと文句を言われたりしてね。昔は先生に叱られても、うちでは言いませんよ。今は親の、それも母親の教育からやり直さなければいけませんよ。

田上 今は恥を合法化する精神的風土があるんですよ。社会の上層部にしてからがそうです。だから子供がどうしても真似をする。

博本 判断力が貧しいんですよ。それと基準が判らないんでしょうか。今は自分だけが良ければ良いという発想ですわ。自分主体、自己中心でしか物を見ない。これは親も同じです。それならエゴの確立というようなものがあるかと言うと、そこまではハッキリしていない。つまり、中途はんばな流行なんですよ。



花屋敷ゴルフ倶楽部

ひろのコース 18H

理事長 渡辺新右衛門 (47回生)

よかわコース 18H

中国自動車道吉川インターより5分 連絡先 TEL 07947-2-0111

伏谷 何事も中途はんばなんですわ。
葛西 今は本当にひどいもんですよ。
世相的にみても、人間が全体にあく
せくしてるんじゃないか。
博本 昔みたいに、一つの物を少なくと
も2週間位は考えるというような気
持の余裕がほしいですね。

教材の差

司会 我々の頃は、例えば英語なら、
ソローのウォールデン（森の生活）
や、エマースンのエッセイ集、ア
イスンのサー・ロウジャー・アト
ホームやら、ポーの黒猫、黄金虫な
ども読まされましたがねえ。

伏谷 最近は何作にも親しまなくなっ
たんですね。こんなんはテストに出
ないと言ってますね。(笑) みんなをそ
っちへ向けようとしても、実利につ
ながるのでないと無理なんですわ。
これは豊かだから読もうというの
ではダメなんです。

葛西 問題集なんですよ。かるい読物
とか、旅行記や日常的なものを扱
った随想などの問題集なんですわ。
例えば外人が日本人をどう見てい
るかとかね。(笑)

水落 世界史の方は昔からテキストは
変らないと思うんですが、ただ時々、
こういう本は読んでおけと言っ
てますよ。例えばシュリーマンの本とか
を読めと言ったら以前はよく読んで
いましたよ、特に30年代には。今は
違いますわ。

博本 30年代と40年代はガラリと違
いますわ。物の見方にしても、勉強の
仕方にしても、やんちゃの仕方にし
ても、全然違いますわ。

水落 学園紛争がありましたからねえ。

博本 勤評や安保ではそう変らな
ったんですがね。

伏谷 それから高度成長期にも変
りましたわ。一番多いときは11クラス
ありましたし。……

葛西 文部省にたてつく様ですが、
最近で云うなら第一二次共通テスト
ですわ。まだ1年もたっていませんが、

問題を見てもあれはクイズ番組の
ようなものですわ。ごく最近の変わった
ことといえば、それですね。

伝統はうけつがれているか

葛西 勉強するという意味では、やは
りやってますよ。その点では勉強で
すわ。ただ昔はプラスアルファと
して、色々自分でそれ以外に勉強し
ましたわ。良く努力しましたよ。1
人のワルがおつても北野は感染しな
いんです。良く言えば自分というも
のがあって、人に感染するとい
うことがないんです。

伏谷 チョット宿題を出しすぎたナ
と思つても、絶対にやって来ますわ。
有難いことです。これは昔と変り
ませんよ。

博本 合宿などで外へ出ますとキ
ッチとする。外部に対しては非常な
プライドをもっていますわ。だから外
へ出ると非常にホメられる。(笑)

葛西 エリート意識とか、プライドは
かなり持ってますわ。

水落 エリート意識というのはそん
な感じないんですがね。(笑)

葛西 エリート意識の定義がむつか
しい。ある意味では、むつかしいテ
ストに合格して入って来るとんだから
という意識がある。勝負に勝った自
信と言いますかな。しかし、落ちこ
ぼれはどうして良いか判らないで
すよ。何度手をかしても判らない。

特異なケースとして

博本 聞き直つているのもおりますわ。
数は少ないですが……

葛西 自分で落ちこぼれてると思
いでいるんですね、本気でやりもし
ないで。

伏谷 転身して伸びない者でも、こ
こに戻つて来ると伸びますよ。

水落 この学校の場合は、他と違
つてそんなに問題にはなっていない。
すっかり落ちこぼれている者とい
うのは少ないですからわ。

葛西 入つて来る時点において力のな

いのが多いんですよ。親や先生が行
けというから来た場合ですが……

田上 これは落ちこぼれ自体の問題
じゃないけど、一般的に言つて学校を
離れたところでは突っ拍子もないこ
とをやりますわ。我々には予測もつ
かない、理解もできないようなこと
をやるわけです。20年前はまあ、予
測もつたし、理解ができんとい
うことはなかった。例えば、例のF君
事件のときでも、理解ができる面が
ありましたよ。つまり、ある物に
対する打ち込みがあつたし、クラシ
カルでさえあつた。校長も理解が
できたはずですよ。だから、破産
靴屋ではないと、宣言もされた、公
けの席上でわ。つまり、起るこ
とが例え予測できなくても、な
んらかの意味で理解ができた。共
感とまでは言わないにしてもわ。

博本 例の赤軍派のM君の場合も
僕は3年間教えていましたが、大
人しい剣道部のキャプテンでし
たわ。線の細い、どこから見て
も気のよわい感じの人でしたわ。

葛西 ハシにも棒にもかからない子
が、阪大の医学部に入ることも
あるしね。予測は本当にでき
ないですね。

師弟関係あれこれ

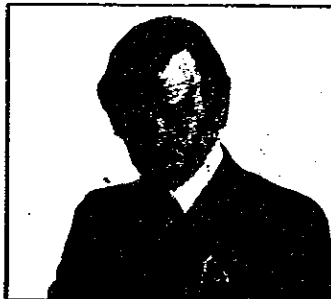
葛西 今の子は先生の家に遊びに
来ませんわ。昔はみんなよく来
ましたがね、一緒にゴロ寝したり
してわ。今は苦無です。僕らも
悪いかもしれんけどわ。冷たい
ですね。結婚した時なんかは
特に来ましたがね。

博本 以前は来ましたが、今は
来ませんわ。在学中は来ませんが、
卒業したら来るんですね。受
験で忙しいせいかもしれませんが……

葛西 昔は遊びに来ると、遊び
だけで勉強の話なんかしません
でしたよ。家内が生徒が好き
でわ。

博本 まあ勉強で忙しいから、
卒業してから来るんでしょう
ねえ。

葛西 スキンシップ、スキン
シップと言いますわ。



デビッド・ジャンセンをキャラクターに、
アダルトのシックな着こなしを追求するメルボです。

Melbo

メルボ紳士服株式会社

取締役社長 清水貞保 (53回生)

博本 確かに以前よりは遠くなっているんでしょねえ。

田上 もし我々がなし得ることがあるとしても、親子の共感というようなものではなくて、まあ係に対するような感情になっているのかねえ。そういうことから言えば、生徒たちに求めることも殆ど絶望に近いですよ。共感の深いものがないから、自分らとしても藏けない。

葛西 今は手を出すと、こっちが危いね。(笑)

博本 僕は在職24年で、生徒たちに手を出したのは2度でしたよ。しかし、最近はキキメがないんです。昔はすぐ反応しましたけど。

葛西 カーッと怒って来るのはよいんですが、ジワジワはいけません。

司会 昔の生徒は、先生の渾名をつけるのが大変うまかったのですが(笑)

.....

葛西 私の渾名はアカオニ、今はカッサイ。(笑)

田上 僕はヒス漢、今はもう言っていないじゃないかな。

博本 今は渾名をつける余裕もない。(笑)

葛西 昔はピクシの渾名をつけたね。頭の良さが判る.....

司会 男女共学について、何かありますか。

水落 別にないです。今、特にカッブルが目立って来てますが、いつ頃からでしょうねえ。

伏谷 今は尊重しますね。クラスの皆もほっといておいてやれや、という感じですね。

葛西 昔は男子は全部荒っぽかったが、女子が入って来るとナイト精神を発揮した。今は反対です、今は女子が強いですね。

博本 面白いのは授業の編成のときですね。男の中に女が2、3人いると普通に出来るんですが、その反対だと授業は出来ませんよ。本質的なもののせいでしょうかねえ。

伏谷 1学期がすぎると席変えしてくれというんですが、ところが2クラス共、席変えに反対するんです。うるさい女の子が来るとイヤだというんです。新しい傾向ですよ。マザー・コンプレックスというんでしょうかね。(笑)

まとめ

伏谷 結局、昔より今の方がいいということはないですね。私はもっと自分を備えつけろ、と言うんです。もっと努力しなさい、とね。

博本 一寸立入った問題になると、努力しないでギヴ・アップですね。

葛西 男子はもっと男らしく、女子は勉強はまあいいから、もっと女らしくなってくれ、ということですね。今は逆になって来てますから。

水落 昔を思い出して今の生徒に言えることは、勉強ばかりでなくて、何でもいから何かやってみて、思い

出を作ってほしいということですね。葛西 でも北野はまだ良い方ではないですか。

伏谷 そう。よその学校のことを色々聞いたりすると、相対的には北野はまだ随分ましだと思いますね。

上原 (柔道部の道場から、汗を拭きながら帰って来て)今の生徒は根性がないですよ。全然ないですね。試合を見ていても窓際によってしまって、逃げよう逃げようとするんです。先輩が来てくれているのに、コワイコワイだね。

水落 例えば六後新聞ですけどね、昭和20年代は1年に4回も5回も出してるんですよ。テーマもかなり突っ込んで、学校の雰囲気を出している。その頃に比べると、今は部員も少なくなってしまって、予算がないということもあって、昨年なんか1年に1~2回ですよ。

田上 例えば水泳を例にとりますとね、古橋や橋爪の頃は迫力がありましたよ。今の人は女子ですら、彼らよりも遅いし、彼らよりいい記録を出しているのに、何の迫力も感じられない。だから我々としても、記録に対する共感を持ち得ない。これを人間の進歩と言うならば、我々もそれを受け入れるよりしようがないけれども、人間に似て非なるものが大きく出て来ているような印象がしますよ、今は.....

谷 齒 科

阪急能勢口駅前

電話 0727-59-3676

院長 谷 弘 (43回卒業)

“ネエ、みんな大きくなったら何になる?”

子供は楽しい夢を見ています
それがやがて、新しい時代を築く確かな
ものへひろがってゆくのです
21世紀につながるこの子たちを、
暖かく伸びやかに
育ててゆくこと、
そのために東洋紡も
お役にたちたいと
考えています。

It's a Good Life
東洋紡



六稜同窓会だより

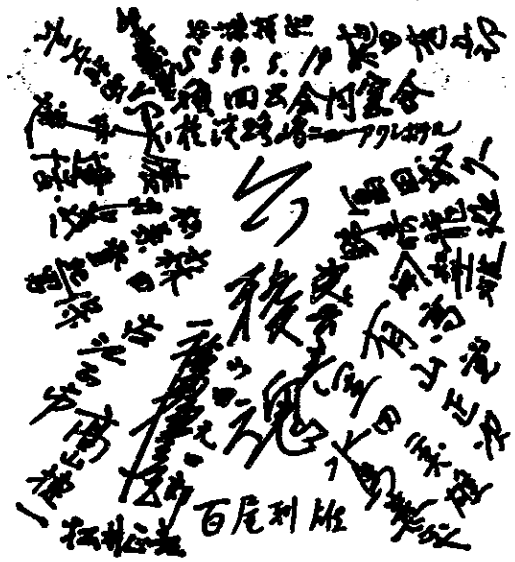
昭三(41期) だより

ことしの4月の大阪府知事選では、ご承知の通り、優勢な相手を前に善戦、総投票数の48%の157万票以上を黒田君が獲得しました。もうひと息というところで残念でしたが、マスコミ評では、支持政党の基礎票を大きく上回る得票をしたのは「黒田さんの人柄でしょうか」という声が多かったのは、同期生としてもうれしいことでした。黒田君の今後については何も聞いていませんが、大いに活躍されることを祈っています。6月8日の東洋ホテルにおける「黒田君をかこむ会」は、恒例の植村先生はじめ、六稜会の溝脇正己(65期・北野高教諭)丸野豊子(66期・常任理事)樋口日出雄(69期・共同通信記者)3氏を迎え、会員多数出席して盛会でした。

六稜四五会報告

昭和54年5月19日午後5時、淡路島洲本市ホテルニューアワジに於て第4回目の全国合同の同窓会を催した。当日の出席者は広田、水島両先生を迎えて、22名であったが特に47会の今津三郎君が宴会に特別出席された。パーティーに先立ち最近物故された同窓の梶山峻吉、杉村圭一郎、紀平国幹、中村孝明の4氏の御逝去をいたみ1分間の黙祷をした後賑やかな宴会となり幹事のたくみな引立作戦に依り各自がかくし芸を披露、特に広田、水島両先生の御元気を芸には一同驚きの拍手を送りました。午後10時散会後も各自の部屋に於て開暮マージャンをはじめウイスキーの飲み直しも行われ、心から50年前の童心に戻り楽しい一夜を送った。翌日は島巡り観光バス組とゴルフ組に分かれ五月晴れの素晴らしい天気恵まれ心行くまで満喫した。ゴルフ組は11名がプレーし東京組の高山捷一君が優勝された。

尚、次回幹事は開高寛、布施政信の両君に決定した。
出席者： 広田、水島両先生他22名 幹事 百尾記



42期生 卒業50周年記念集会

(稜友会) 昭和54年6月2日

開業間もないホリディイン 南海に於いて午後3時集合、東京始め遠隔の地より大挙参会、つもる話題に時のたつのも忘れるほどであった。全員記念写真、宴会に移る。自己紹介をかねての一言ずつの中学時代の思い出、それが亦昨日今日の様によみがえって来るのも不思議である。戦後の混乱期を乗り切った強者達の健康な顔が列ぶ。

30年には六甲山上で、40年には箕面で、入学50年の記念集会是北野中学ゆかりの地芝田町でといった工合で折目正しく会を持って来た。

50年の集会には各人持ちよりの随想録及会員名簿を発行全会員に発送田交を温めることが出来た。

尚、月例昼食会も始めて以来26年、今ではよい集会としてお互い交歓の場となっていることを誇りに思っている。

(昭4卒・別府寄-)

六稜47会

4月7日好文クラブに於て、恩師8名を招き、50名参集盛大に行われた。

六稜五一会 卒業40周年

記念全国大会之記

我等五一期生が旧制北野中学校を卒業したのは昭和13年春、即ち今年で丁度40年目に当るので、記念の全国大会を開催しようという声は去年から随分高くなって来ていた。

何やかやと世話人の会合が忙しかったのは今年の始め頃からである。

昭和53年11月25日(日)の大会当日は、冬場には珍しく暖かな快晴に恵まれて明けた。

会場は同期の加藤君が社長の東洋ホテル。受付開始の3時半よりもうずっと早くから、懐しい顔や珍しい顔が三々五々続々と集って来る。当日御来臨の恩師の方々は、広田・植村・土屋・小林・岡島・村上の六先生。いずれも驚く程の御元気で、一同感服する事しきり。丁度同日同時に別の所で五十二期の同窓会が重なったので、その方に取られた先生方もあって少々残念。生徒側の当日出席は実に64名。特に関東や九州から遠来の諸兄が多いのもまことに感激の到りである。

いよいよ定刻4時。大会は先ず司会役馬場君の開会之辞に始まり、次いで本舞君により物故会員諸士の慰霊式に移る。校歌と、出征兵士を送る歌と海ゆかばのメロディをアレンジしたBGMが低く流れる中を、今は亡き79名の級友の氏名が次々と厳かに読み上げられ、黙持する我々の胸を強くしめつける。

続いて五一会代表の石津君より挨拶と経過報告があり、更に恩師方の代表として、今なお公私共に要職たる広田先生からまことに御懇切且つ有益な卓話を承る。

さて、いよいよ開宴である。加藤君の配慮と中沢君(博多都ホテル社長)の示唆により、会場内は華やかな山海の珍味

と美酒の山又山、関東煮やざるそばの屋台まで出る豪勢さである。植村先生の御発声により全員乾杯。卒業以来はじめて顔を合わせた同志の交歓も随所にあつて、実に興味の尽きる所がない。

会場には多忙を割いて府議の浦浜君や市助役の藤井君等の笑顔も見え、熱気あふれる人垣を縫うように記念写真係の池田君のカメラとフラッシュが走る。——突如壇上に起られたのは小林先生。「旧制高女教えの原形」という臨時特別講義を賜り、会場のムードはますます高潮するばかり。——やがて時刻も移り、あの勇壮な「瀬江春の花の色……」のラグビー応援歌が、そして又、あの懐しい「六稜の……」の校歌が全員の涙の中に高らかに合唱され、なおも名残りは尽きぬまゝ、辻君の閉会の辞と、五一会の万才三唱によって再会を期しつつ、漸く7時過ぎに本大会はめでたく終了した。なお当日の出席者には、卒業40周年記念の最新名簿と、半分に折って頭に巻けば六稜と白線の制帽を思わせる記念手拭が贈られ、なお又、巴むを得ぬ欠席ながら特に希望された諸兄にも、後日これらの記念品を郵送する事とした。

次回の全国大会は、一応5年後の卒業45周年記念を予定して居り、更には又50周年の開催をも夢見つつ、諸先生方並に五一会同窓諸兄御一同の益々御活躍・御健進を衷心より祈りつつ、報告文責の筆を置く次第。

(多羅尾 記)



(六稜 五一会)



六稜伍仁会

第52期 (昭和14年卒)

六稜伍仁会の本年度全国ミーティング大会は、今年も亦、昨年と同じく本町帝国ビル17階大ホールで、去る11月25日(日)午後5時より開催され、地元大阪近郊勢はもとより、東京、中京、その他各地から相集うもの40名を越え、恩師また保田植村・村上・岡島の4先生方も来臨あり、8時半漸く閉会した。

会はいつものように、世話役中の世話役、田中仁也君によって始まり、写真をとったあと、故三橋先生、故吉田耕造君、故小林圭二郎君、故武田家雄君のめいふくを祈って、黙祷をささげた。つづいて、先生方から、今年も亦颯爽たるご挨拶を頂いた。乾杯は、昨年は級長・駒田志郎君だったので、今年は、級長になれなかった上尾悦郎君に、母校体育振興会々長という肩書を奉って、やってもらった。仁也にこういうユーモアがあるのも新発見なら、エッチャンの乾杯ぶりも「ダーバン・セ・エレガンス・ド・ラ・モデルヌ」であった。今回は津田・戸咲という不可欠人物がいないので、残念だったが、それでも、竹原君がマイクをもったり、植田君がわが人生は、らびあんろうずだ、といったり、柿川君が鶴の如き姿をみせてスピーチをやったり、前田君、高橋君が、入れかわり立ちかわりしゃべったりで、きわめて盛会であった。ところでハガキをみると、定年と、病氣と、「夫婦二人きりだ」がめだつて、年を物語るようになった感がふかい。

浅月君、お大切に。小杉君、ハラキリのあとゆえ、ムリだけはされませぬように。谷君、本復をおいのりします。松本君、くれぐれもお大事に。丸井君、早く少しでも良くなるように。吉見君、来ないときびしいよ。山内君、お具合どんなですか。

(澤田麗正 記)

○大会出席者

植村、岡島、村上、保田(4先生) 他40名

五七会記念写真



84期 旧3-8幹事より

前略

4-5年前に集めたクラス同窓会費が、使う予定もなく利息などもついて3万円にもなりました。つきましては、六稜同窓会の方でそのお金を、有意義に役立たせていただけたらと思います。この件、クラスのメンバーには、知らせておりませんので、できましたら、六稜会報等の紙面にて、その旨、伝えていただけたら幸いです。

大路 通

大路 美智代(旧姓 土手)

ニュージーランド政府から

名誉の勲章



川瀬勇君に

晴れの栄典

白井次郎 記

われらのツルサン・川瀬勇君(大15卒)が、ニュージーランド政府から名誉ある英女皇授与勲章(Order of Queen's Service(Q.S.O) for Community Service)を授与された。

同君は慶応に在学中の昭和6年、銀行家になれという親を説き伏せて単身ニュージーランドへ。カンタベリー大学(現在のリンコルン大学)農学部で草地農学を勉強、帰国後、北海道大学に論文を出して農学博士に。

戦後、やっと牧草研究が認められ、草地学会員はいま約千人。同君は現在日本・ニュージーランド協会の副会長で、今回の受賞は、両国の親善と学術的貢献が認められたもので、授与式は5月29日東京のニュージーランド大使館で同国大使R. D. Miller氏の手により行われた。(写真)

われら級友は、この栄誉を祝福するため東西に於て、集会を催した。出席者は次の通り。

東京祝賀会

5月31日(木)夕 日本工業倶楽部にて。

出席者：(三八会)岩尾健治郎・植村春三・高石喜久雄・玉置敬三・弘中嘉雄・山瀬俊男・吉井欣治(三九会)伊藤治郎・大谷晃志郎・岡田宗治・千葉次郎・中谷孫一・三宅利雄・水谷弘・山田宗圃。

太安萬侶と北野高校

旧職員 水島喜平

(大正15年から昭和24年まで在職)

まだ本校舎が芝田町の今の済生会病院のところに在った頃、創立記念日に第1回卒業生安場先生が講演をされたことがある。先生は今の一つ橋大学を卒業され大倉商業学校長をしておられた。その話の中に「汽笛一声新橋を」の作曲家は北野中学の唱歌の先生をしておられたという言葉があった。

ある会で森繁久彌君にこのことを話した所「是非調べて欲しい」と頼まれた。古い先生や卒業生に聞いても、みんな「覚えていない」と言われる。私の思い違いかと不安になって来た。

太安萬侶の墓誌が奈良市東部の茶畑で1月22日竹西英夫氏によって発見され、高松塚の色彩壁画、稲荷山古墳の鉄剣銘と合せて考古学の三大発見と称せられている。

毎日新聞(2月4日)「茶畑ロマン」によると、安萬侶の子孫に音楽家が多い。「汽笛一声新橋を」の作曲家多梅稚(おののうめわか)もそのひとりとのこと。

この多梅稚氏は明治25年から31年まで大阪府第一尋常中学校の唱歌の先生であった。

こう見て来ると太安萬侶も古事記も何か身近かなものに感じられる。

大阪祝賀会

6月21日(木)夕 新朝日ビルシャトウにて。

「三九会古稀通過記念例会」を兼ねて行う。

出席者：飯田精治郎・岩崎豊一・香村菊雄・黒田常三郎・阪口貞一郎・白井次郎・田村武敦・中村武雄・中村了・西宗康夫・林芳郎・藤井精一・藤井正義・松井順一・真島良雄・森重人・森田弘毅・四方田欽一(客員)岡田喜雄

写真

貴方のおうちの歴史を
つくって見ませんか?

皆様のお蔭をもちまして開業以来順調に
発展致しております。感謝

箕面市箕面5-12-9 株式会社 **7オクサン**
0727 (22) 1577

ニッピョウ

業務用食品・洋酒・純氷

日本氷業有限会社 (61回古川)

ゴルフ場のエントリー専用 (コース150ヶ所)

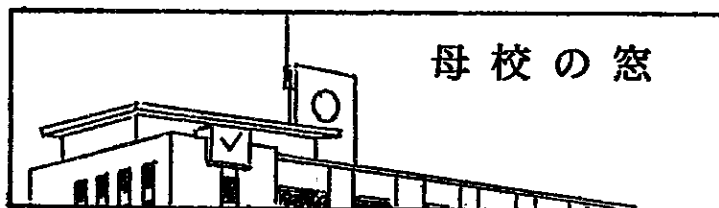
阪神百貨店6階

阪神ゴルフガイドコーナー

藤田政江(昭和28年卒)

コーナー専用電話 (06)341-2345・5566

(水曜日定休)



母校の窓

御祝い

- 村井正三先生が昭和53年11月3日に大阪府教育委員会より25年勤続表彰を受けられました。
 - 又、旧職員 原勝巳(社会S15~25) 国友正(社会S25~33)両先生が、それぞれ勲四等瑞宝章の叙勲を受けられました。
- おめでとうございます。

御不辛

三橋正道先生(地歴S4~22)
小林篤郎先生(物理S14~15)
おなくなりになりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

職員異動

八尾隆先生(数学)が、昨年12月1日付で講師より教諭になられました。平石亮三(体育)・長谷川寛治(社会)の両先生が、この三月にご退職になられました。永い間、本当にありがとうございました。そうして新しく、木村昌義(社会)・原田伸明(保健体育)の両先生を、それぞれ新任としてお迎えしました。鯨島(吉永)加奈美(事務職員)さんが、結婚を機会にご退職になり、吉村昌巳(事務職員)さんが着任されました。

御寄付をいただきました

親子三代・六稜健児

木村良一郎氏(S20・59期)のご息が本校に入学され、ご尊父(ご健在)も北野中学の卒業生ですので、親子三代、北野に学ぶというめずらしい一家になりました。おめでとうございます。これを記念して木村様より学校へ内田・如風作「前穂高岳画」を寄贈していただきました。あつくお礼申し上げます。

71期(S34年卒)より防球ネット寄付

去る7月29日卒業20周年記念として71期より防球ネット2張り(20万円相当)の寄附をいただきました。同期の皆様にご改めしてお礼申し上げます。

京都・長岡京市在住の 清水焼の長老

長谷川白峰先生(80才)より 花びんの寄贈を受く

このたび、北野高等学校にみごとな花びんを寄付していただきました。この花瓶は、「窯変釉彩面取花びん」(写真・高さ33cm×径30cm)というもので、深い青緑の地に赤い色の菱形模様を流したものです。一昨年、京都大丸で先生の「人生最後の個展」が開催されましたが、その時に製作された大きな作品です。校長室に飾ってあります。



クラブだより

54. 8. 1 現在

【ラグビー】

公式戦、全国高校ラグビー(府予選)25-0対千里高勝(1回戦)、0-34対長尾高敗(2回戦)。近畿高校ラグビー(府予選)0-11対高田林高敗(1回戦)。春季大会(国体予選)0-26対交野高敗(1回戦)。
定期戦、対天王寺高10-80敗。対洛北高8-52敗。
記事・連絡
本年4月、平石(ピンタ)先生の後任として、体育科に新進気鋭の原田伸明先生が着任されました。専門はラグビー(FB)、現役のバリバリです。この1年間は自見監督の下、コーチとして低迷する現役に率先垂範、牽引車の役割をお願ひすることになっております。先輩諸氏も時間を割いて御来校下さい。

【サッカー】

公式戦、第33回全国高校選手権府下予選1回戦対能勢業権勝、2回戦1-2対関西大会敗。54年度全国高校総合体育大会府下予選2回戦3-0対摂津勝3回戦2-1対金剛千里勝、4回戦1-1対池田敗(PK2-4)
定期戦、53年度1-2対膳所敗、54年度第20回1-1対天王寺分。
記事・連絡
54年度、夏期合宿8月23日(水)-27日(月)南紀青少年スポーツセンター。

【ハンドボール】

公式戦、第33回高校春季総合体育大会兼第30回インターハイ予選北ブロック大会、男子1回戦11-5対東淀川勝、2回戦13-9対豊島勝、3回戦13-8対池田勝、4回戦8-10対豊中敗。中央

池田市石橋2丁目3-1
(阪急宝塚線石橋駅前)

耳鼻咽喉科

井利 鼎 (昭和10年卒)

電話 (0727) 61-1423

機械工具・樹脂製品・平和重油ストープ
〒532 大阪市淀川区木川東1丁目3番24号

株式会社 **ビシビシ**

代表取締役 平佐 國夫(第50回卒)

電話大阪06 { (301) 4651~6
(303) 8441~2

大会9-7村松宮勝、20-10村泉北勝
11-15村枚方敗、府下ベスト8選出。
記事・連絡
9月23日、本校グラウンドにて対天高戦を行います。その際ハンドボール部の平石先生の退官式も行いますので是非おこし下さい。

【野球】

公式戦、53年秋季近畿大阪府予選2回戦対大工大附属0-5敗。54年春季近畿大会府予選2回戦対東商16-5(5回コールド)勝、3回戦対上宮0-10(7回コールド)敗。54年全国高等学校野球選手権大阪大会2回戦対上宮3-9敗。
定期戦、53年浪商(秋)0-14敗、54年浪商(春)2-12敗、天王寺1-5敗、市岡1-3敗。

【ソフトボール】

公式戦、第33回大阪高校総合体育大会(国体選手選考会)1回戦0-10対淀川女子敗。第7回大阪高校部別大会1回戦0-10対帝国大和田敗、第31回全国高校女子選手権(昭和54年度全国総体予選)1回戦7-2対堺西勝、2回戦4-5対島上敗(8回延長)
記事・連絡
●夏期強化合宿(4泊5日)7/27-7/31本校において。
●練習時間月~金3:00~5:00
土 1:00~4:00

【陸上競技】

公式戦、近畿府県対抗陸上競技大会400m優勝49*0田村享久(高校の部最優秀選手に選ばれる)。大阪インターハイ兼近畿予選200m5位22*4田村享久。400m優勝49*2田村享久、4位50*4佐野雅昭。1500m4位4*04*0松島正展、5000m5位15*24*3松島正展。400mリレー4位43*1新家・田村・小山・佐野、1600mリレー優勝3*25*5f1

石・佐野・高橋・田村。
総合得点第4位25点、トラックの部第2位25点。
近畿インターハイ兼全国予選、400mリレー第3位43*12新家・田村・小山・佐野(全国大会に出場)
記事・連絡
11月3日(土)六校同窓会当日、壮年体力テストを競技部主催で実施します。陸上OB諸氏はふるって参加下さい。

【庭球】

公式戦、大阪高校総体庭球大会2・3年男子単小谷繁弘ベスト4。2・3年男子複小谷繁弘・坂和洋一ベスト8。1年男子単本田康治ベスト4。安本修世ベスト8。1年男子複本田康治・安本修世ベスト4。大阪高校対抗新人庭球大会準優勝、0-3対清風敗。第1回全国選抜高校庭球大会ベスト8、0-3対早実敗。大阪高校総体庭球大阪1年女子単谷口美帆ベスト4。
定期戦、対天王寺14-10勝。対市岡8-5勝。

【卓球】

公式戦、新チーム戦(男子)1回戦3-0対阿倍野勝、2回戦3-0対北陽勝、3回戦1-3対同志社敗。(女子)1回戦0-3対天王寺敗。新人シングルス徳村直継ベスト16入京阪神大会に出場。インターハイ予選(男子)1回戦不戦勝2回戦3-1対布施工勝、3回戦2-3対布施高敗。(女子)1回戦2-3対三国丘敗。
定期戦、対市岡高(秋季)7-8敗。(春季)11-4勝。対天王寺高7-8敗。
記事・連絡
1月7日第2回六校杯をOB、現役で行い、(男子)本田啓司(3年生)(女子)田中和貴子(3年生)が優勝。又3月25日第4回六校杯を多数のOB、現役参加のもとで行い、(男子)井手毅(S49卒)、(女子)田中和貴子(3年生)が優勝しました。次回六校杯は8/12日

11/3日の予定です。

【バスケットボール】

公式戦、第33回大阪高校総合体育大会78-79対追手門敗。第26回大阪高校バスケットボール新人大会(地区大会)94-19対城山勝、66-45対茨木西勝、61-52対三島勝(ベスト8)、53-69対池田敗。第26回大阪高校バスケットボール新人大会(中央大会)57-80対大手前敗。全国高校バスケットボール選手権大会大阪府予選68-39対泉北勝、78-46対摂津勝、56-49対藤井寺勝、59-69対岸和田敗。

【女子バスケットボール】

公式戦、第33回大阪高校総合体育大会48-52対吹田東敗。第26回大阪高校新人大会兼第9回全国選抜大会府予選1回戦57-51対摂津勝、2回戦68-71対洗谷敗。大阪府立校リーグ北地区54-45対豊島勝、72-54対箕面勝、97-47対三島勝、60-49対東淀川勝、決勝45-60対千里敗(準優勝)。第33回全国高校バスケットボール選手権大会大阪府予選兼第34回大阪高校バスケットボール選手権大会1回戦58-27対今宮勝、2回戦70-38対刀根山勝、3回戦55-59対市岡敗。
定期戦、115-95対淀川女子勝、139-22対市立伊丹勝、86-33対川西緑台勝。

【器械体操】

公式戦、2部大会団体総合15位。大阪高校総合体育大会団体総合12位、1・2年生大会種目別跳馬4位。大阪高校春期体育大会個人18位。
記事・連絡
長年顧問をつとめておられた平石先生が退職をさいました。
部員数は男子6名、女子9名(内マネージャー1名)
毎週火・金曜日を除く4日間、規定演技を中心に2時間半の練習を行なっている。

気軽にお越しいただける。
結婚の相談室です
日本ブライダル協会
松原 鉄男(68回卒)
TEL 大阪 945-0677
〒540 大阪市東区谷町1丁目42
エルフ大手前401号室

田中電工株式会社
小松電子株式会社
代表取締役社長 田中 陸(62期)
田中電工(株)
大阪市旭区高殿7丁目16番31号
TEL 06-951-1131(大代表)
小松電子(株)
石川県小松市安宅町甲135番地
TEL 0761-21-2000(代表)

【剣道】

公式戦、大阪府総合体育大会予選(男子)5回戦2-3対近大付敗、(女子)1-2対明浄敗。北摂学校剣道大会(男子)3回戦0-4対東豊中敗、(女子)2回戦1-2対教附池田敗。新人戦予選(男子)5-1対池田高勝、(女子)4-0対箕面高勝、本大会(男子)3-4対近大付敗、(女子)3回戦1-2対阪南高敗。インターハイ予選(男子)1回戦1-4対清風敗、(女子)3回戦0-5対帝国女子敗。インターハイ個人戦予選(男子)4回戦PL(中西)対北野(徳岡)2-0敗、2回戦2-1敗。(女子)3回戦佐野(神藤)対北野(佐々木)2-1敗、3回戦浪速女子(吉村)対北野(野村)2-0敗。
定期戦、対天王寺女子五人戦5-0勝男子勝ち抜き敗、男子団体2-2本数負け。三校戦(対豊中、池田)女子団体優勝、女子個人2位、男子団体優勝、男子個人優勝。対大手前女子団体2-2本数勝ち、男子団体5-0勝、男子11人戦10-0勝ち。

【柔道】

公式戦、インターハイ地区予選1回戦2-1対桜塚勝、2回戦1-1対島上内容勝、3回戦1-4対箕面学園敗(ベスト8)。新人戦1回戦1-3対洗谷敗。インターハイ個人戦中量級3年生玉田雅靖3回戦まで進出。

定期戦、秋1-6対天王寺敗、勝抜き対天王寺敗。春3-6対天王寺敗、勝抜き対天王寺敗。

【水泳】

公式戦、大阪高校総合兼近畿高校予選会100m背泳満友正人(1-10-32)7位、200m背泳満友正人(2-31-66)7位、200mバタフライ佐藤光司(2-45-63)9位、400mメドレーリレー満友正人・秋田潤・佐藤光司・南宏尚(4-50-59)10位。大阪高校対校選手権水泳競技大会100m背泳満友正人(1-11-9)10位、200m背泳満友正人(2-33-5)8位、200mバタフライ佐藤光司(2-45-2)10位、400mメドレーリレー満友正人・秋田潤・佐藤光司・南宏尚(4-51-5)10位。大阪高校新人水泳大会100m背泳満友正人(1-11-13)7位、400mメドレーリレー満友正人・米女太一・佐藤光司・浦勇武志(4-56-51)10位。総合十傑200m背泳満友正人(2-31-66)8位。

定期戦、対北淀高校242-239勝。対大手前高校勝。対市岡高校敗。対県立尼崎高校85-62勝。対天王寺高校154-157敗。北摂大会優勝(11校参加)
記事・連絡
先輩方の御指導をいただきたく、水泳部員一同御来校を心待ちに致しております。

【山岳】

5月12-13日全国登山大会大阪府1次予選(岩湧山)。6月2日同2次予選(蓮来峽)総合第19位。6月10日新人歓迎会・山岳部OB会(谷山谷)。6月23-24日京都北山。7月14-15日1回目ポッカ(岩湧山)。7月20-21日2回目ポッカ(六甲)。7月29日-8月3日(夏山合宿)於北アルプス。

【コーラス】

1978年10月29日第33回関西合唱コンクール参加(全日本合唱連盟、全日本合唱連盟関西本部、朝日新聞社主催)。1978年11月19日六校交歓音楽祭参加(大阪府立清水谷高校主催)。1978年11月23日大阪府高等学校連合音楽会参加(大阪府高等学校音楽研究会主催)。1979年4月14日新入生歓迎演奏会(本校講堂にて)。1979年6月17日、18日の両日ともに文化祭に参加。

記事・連絡

我がコーラス部は技術的な面での向上も大きな目標の一つであります。それだけではなく、とにかく「合唱を楽しむ」事を基本に活動しています。昨年7月からの一年間に1回のコンクールと5回の演奏会を行いました。4月には二十余名の新入生を迎え人数も40名に達しようとしています。

【オーケストラ】

恒例の新入生歓迎演奏会ではベートー

郷愁の味 伝統の味 自然の味

浪花の名物「夕霧そば」

「夕霧そば」は、昭和29年11月25日大阪府麺類組合連合会新調理品展示会に、始めて柚子切そばを夕霧そばとなづけて出品、斯界の絶讃裡に最高優位賞を獲得したものです。

手づくりの味献上そば

大阪市北区曾根崎上2丁目16番地
梅田新道お初天神東へ入る

☎(06)311-5041
313-4045

IGS夕霧そば 瓢亭

試薬

石津製薬株式会社

取締役会長 石津 作次郎(明治38年卒)
取締役社長(薬学博士) 石津 一 貫(昭和13年卒)
常務取締役 石津 純 正(昭和17年卒)

本 社 大阪市東区道修町2丁目2番6号 電話(06)231-5003代表
工 場 大阪市鶴見区鶴見4丁目17番の86号 電話(06)911-3786代表
東京営業所 東京都千代田区岩本町1丁目6番7号 電話(03)866-5715代表
九州営業所 福岡市東区荏松4丁目8番7号 電話(092)611-1561代表

30年目の微笑

センバツ優勝の六後ナインが、本年4月7日、センバツ優勝戦の行われた甲子園球場に招待されました!!



(左から、清水治一、水谷勇、品川潔、広瀬繁雄、梅田明、長谷川圭市、市村博、山本次郎の優勝ナイン)

写真と文

政井 榮 (63期)

去る4月7日、毎日新聞、毎日放送のご厚意で「30年前の優勝ナインが優勝戦を観る会」が催され、第21回(昭和24年)センバツ優勝当時の我が北野ナインが久し振りに甲子園球場に集り、浪商対箕島の第51回優勝戦を観戦しました。

監督	清水	私自身は、当時ベンチを温めてい
コーチ	水谷	ましたので正確にはナインの一員ではな
マネジャー	三川	い訳ですが、清水監督のお誘いに甘ん
(遊)	市村	じ、又、甲子園の魅力に抗し切れず、
(捕)	広瀬	仕事の合間を縫って馳せ参じた次第
(中左)	長谷川	です。優勝当時のメンバーは左記の通
(投中)	山本	りでしたが、このうち当日の出席は遠
(左投)	多湖	隔地在住の市石、多湖、慶留間の各氏
(一)(主)	梅田	を除く8名と私の9名で、数字的には
(右)	慶留間	正にナインが集った訳です。
(二)	市石	久し振りの甲子園は、殆ど昔と変わ
(三)	品川	っておらず、私にとっては観戦どころで
(補欠)	竹内	はなく、30年来、脳裡に焼き付いてい
〃	田中	る思い出の場面が、改めて彫像と甦
〃	政井	のを禁じ得ませんでした。

30年前の芦屋高との優勝戦は、地元同士の対決ということでスタンドには8万人の超満員(当時は銀傘も椅子もなく通路にもびっしり坐った)で、一投一打ごとに大阪勢と兵庫勢が交互にどよめき、これに大阪、神戸の各駐留米軍が加勢して耳もつんざくばかりの騒然たる雰囲気の中で進行了ました。

延長10回の裏、4-4の同点に追いついた芦屋はなお、一死満塁でサヨナラ勝ちのチャンス。打者石田の一打は左中間への痛烈なライナー、捕っても俄棄てで敗けたと思った瞬間、レフト長谷川は捕球したボールを本塁には目もくれず、練習通りセカンド市石に送球、勝ったと思って飛び出した二塁走者を併殺、最大のピンチを脱した。

センバツ史上有名な実況アナウンサーまでもが一具ゲームセットを宣したというこの頭脳プレー。ベンチの中で三宅先輩が中折衝を叩きつけて口惜しがられたシーン。清水監督の沈着な、しかし蒼ざめた顔。大喚声の中で居ても立ってもいられないような気持——あたかも30年前に引戻されたように、この日もまざまざと当時のことが思い浮かぶのでした。

このような貴重な機会を与えていただいた毎日新聞、毎日放送の各社にお礼を申し上げるとともに、我々の後輩が再び甲子園に駒を進められることを期待して止みません(敬称略)。

プロフィール

日中のかけ橋として活躍する

中日友好協会通訳 段元培君(64期)

◆…読売新聞社の招きで来日中の「人民日報」訪日代表団の通訳、段元培さん(48)は大阪・北野高校の卒業生で、24日夕、段さんの宿泊先の大阪市北区のロイヤルホテルに北野の同期生6人が集まり旧交を温めた。

◆…段さんは10歳のとき来日。旧制高松中から旧制北野中に転入、新制に切りかわった北野高校を昭和27年に卒業、大阪市大に進学したが、翌年に帰国。中日友好協会などで通訳、翻訳に活躍し、今度が4度目の来日。

◆…この夜かけつけた6人のうち、日本長期信用銀行大阪支店部長川島弘さん(45)ら2人は27年ぶり、手を取り合って再会を喜び合い「日本で大阪弁がすたれるなら北京に大阪弁保護委員会でもつくるか」と段さんが笑わせるなど、深夜まで談笑が続いた。(54. 7. 25 読売新聞朝刊より転載)



(右から、段元培君と、北野同期の友人たち、岡芳蔵、川島弘、大谷暹、荒木万治、中野芳彦、足立俊一郎の諸君——読売新聞社提供)

編集後記

* 刷り上ったばかりの六後会報をお届けします。会員各位の秋の夜の伴侶となりますよう。

* 座談会「ひとことふたこと」など多少新しい企画を樹ててみましたので、何卒皆様方の率直な御感想をお寄せ下さい。

* 編集子はこの八月、長崎県平戸に元校長の林武雄先生をお訪ねして参りました。聖ザビエル教会と地続きの、夏なお涼しい博覧とした森の中の御生活——モーツァルトを聴き、随外露伴を繙かれる芸術三昧のお暮らしのせいか、先生の眼は輝き、声には青年の漲りがあり、お腰は申すまでもなくシャンとしておられて——全くその御健勝振りは驚くばかりです。夜は宿屋の酒場に席を移して懐旧談に花を咲かせたのですが、ビールの杯をブランドグラスのように両手でいたわられながら、いつの間にかそれが空になっている。しめて半ダースほど召し上ったでしょうか。真夏だというのに、空の高みには平戸の瀬戸をわたる風が木枯しのような響きを立てているのです。「ぼくにはこれがあるよ」とペンシル状の懐中電灯をちらと示された先生は、見送りを断られ、独り森の中へ帰って行かれました。どうか、いついつまでもお健やかに。110周年の御出席をお待ちしています。

* 今回の「随想」は寄稿者の都合でお休みです。(J)